

第17回 ジュニアかなざわオンライン検定 解答と解説（小学生版）

問題1

金沢市では、毎年6月に「百万石まつり」が開かれています。今の金沢市のもとをつくった誰（だれ）の功績（こうせき）をたたえているのでしょうか。

- 1 織田信長（おだのぶなが）
- 2 柴田勝家（しばたかついえ）
- 3 前田利家（まえだとしいえ）
- 4 徳川家康（とくがわいえやす）



「百万石まつり」は前田利家が金沢入城（にゅうじょう）をはたしたといわれる6月に行われています。

問題2

金沢市にはキゴ山や卯辰山（うたつやま）など、有名な山がたくさんありますが、金沢市で一番高い山は、標高（ひょうこう）1644メートルあります。その山はどれでしょうか。

- 1 戸室山（とむろやま）
- 2 奈良岳（ならだけ）
- 3 野田山（のだやま）
- 4 大門山（だいもんざん）

奈良岳からの二又川（ふたまたがわ）と、大門山からの倉谷川（くらたにがわ）は、犀川（さいがわ）ダムにあつまり、その後、金沢で一番長い「犀川」という川となって、日常（にちじょう）生活につかわれる水道水や、田畑をうるおす農業用水などに利用（りよう）されています。

問題3

まるびいの愛称（あいしょう）で知られる美術館（びじゅつかん）は、展示（てんじ）作品が魅力的（みりょくてき）であり、気軽に立ちよることのできる美術館です。この美術館の名前は何か。

- 1 石川県立美術館
- 2 中村記念美術館（なかむらきねんびじゅつかん）
- 3 国立工芸館（こくりつこうげいかん）
- 4 金沢21世紀美術館



金沢21世紀美術館は、まちにひらかれた公園のように気軽（きがる）に立ちよれるため、全国の美術館の中で入館者数が1位になったこともあるほど、人気の美術館です。

問題4

1858年（安政5）、凶作（きょうさく）により米の値段（ねだん）が上がり、人々の生活はとても苦しくなっていました。人々は山に登り、金沢城に向かって「ひもじいわいやー」「米くれまいやー」となきさげびました。この「安政（あんせい）のなき一揆（いっき）」で人々が登った山の名前は何か。

- 1 奥医王山（おくいおうぜん）
- 2 キゴ山
- 3 三小牛山（みつこうじやま）
- 4 卯辰山（うたつやま）



卯辰山に登った人々のさげび声が殿様（とのさま）の耳にもとどき、藩（はん）の米蔵（こめぐら）からお救（すく）い米を放出するように命じました。しかし当時は人々が藩に直訴（じきそ）することは禁じられていたため、主だった7人の人は、処刑（しょけい）されました。

問題5

金沢市では、自動車による渋滞（じゅうたい）をなくすため、自転車を簡単（かんたん）にかりたり返したりできる公共（こうきょう）シェアサイクルを取り入れました。2020年（令和2）からは電動アシスト自転車を導入（どうにゅう）しました。このシェアサイクルサービスを何というのでしょうか。

- 1 ちょいのり
- 2 かるのり
- 3 まちのり
- 4 すぐのり



かりたり返したりする自転車置き場（おきば）であるポートもふえており、観光客だけでなく市民の方々も気軽に使えるようになっています。

問題6

金沢城（かなざわじょう）は1592年（文禄元）から、本格的（ほんかくてき）な城づくりが始まりました。その時、城づくりの中心となった人物は誰（だれ）のでしょうか。

- 1 豊臣秀吉（とよとみひでよし）
- 2 高山右近（たかやまうこん）
- 3 佐久間盛政（さくまもりまさ）
- 4 板谷兵四郎（いたやへいしろう）



石垣づくりは、当時最高の技術（ぎじゅつ）を持っていた近江（おうみ）の国の石工集団（いしくしゅうだん）「穴太衆（あのうしゅう）」が担当（たんとう）しました。現在（げんざい）の石引町（いしびきちょう）は、城づくりの石を引いたことにつけられた名前です。高山右近は、城づくりにかけては天下にその人ありと知られていました。金沢城づくりを終えた後、富山県（とやまけん）の高岡市（たかおかし）にある高岡城の設計（せっけい）をしたともつたえられています。

問題7

金沢の伝統産業（でんとうさんぎょう）の一つである金沢仏壇（ぶつだん）の特色（とくしょく）は、加賀蒔絵（かがまきえ）の上品な美しさを持ち、しかも変色（へんしょく）しないことです。また、耐久性（たいきゅうせい）を高め、後で修理（しゅうり）できるように、組み立てには「あるもの」がほとんど使われていません。その「あるもの」とは何でしょうか。

- 1 蝶番（ちょうつがい）
- 2 釘（くぎ）
- 3 ねじ
- 4 金箔（きんぱく）



仏壇のほねぐみとなる木地作りでは、ヒバやイチョウなど、耐久性（たいきゅうせい）があり長年使用できる木材（もくざい）を用い、釘を1本も使わない「ほぞ組み」とよばれる技法（ぎほう）で組み立てるため、丈夫な仕上がりになります。

問題8

1874年（明治7）長谷川準也（はせがわじゅんや）が長町（ながまち）の川岸に大きな工場をつくりました。当時としては、全国第2位の大きさと、鞍月用水（くらつきようすい）から水を引き、大きな水車を使って機械（きかい）を動かしていました。この工場は何の工場でしょうか。

- 1 ビール工場
- 2 自動車工場
- 3 製鉄所（せいてつじょ）
- 4 製糸場（せいしじょう）

「金沢製糸場」は、国がつくった富岡（とみおか）製糸場（群馬県（ぐんまけん））に次いで全国第2位の大きな工場でした。蚕（かいこ）のまゆから糸をつむぐ半木製（もくせい）のくり糸機が200台もありました。工場を作った長谷川準也は後に金沢市長となり、電気事業を始めようとするなど郷土（きょうど）の発展（はってん）につくしました。

問題 9

金沢の農業は米作りが中心ですが、昔から金沢で栽培(さいばい)されている「加賀野菜(15品目)」や、金沢の風土をいかして生産された「金沢そだち(5品目)」など、多くの農産物(のうさんぶつ)があります。「金沢そだち」にふくまれるものはどれでしょうか。

- 1 すいか
- 2 りんご
- 3 みかん
- 4 ぶどう



金沢には「加賀野菜(15品目)」のほかに、金沢の風土(ふうど)をいかして生産(せいさん)された「金沢そだち(5品目)(だいこん、すいか、なし、トマト、きゅうり)」があります。

問題 10

2023年(令和5)秋に、石川県内で全国の文化団体(だんたい)が一堂(いちどう)に会し、活動を発表・交流するイベントが開催(かいさい)されますが、そのイベントは何というのでしょうか。

- 1 いしかわ百万石文化祭 2023
- 2 かなざわ百万石まつり
- 3 いしかわ文化発表会
- 4 かなざわ文化交流フェスティバル



金沢市においても、重層的(じゅうそうてき)で個性(こせい)ゆたかな文化の特色を生かした多種多様(たしゅたよう)なイベントが開催されます。観覧(かんらん)するだけでなく、みなさんが参加・出演できるイベントもあります。

問題 1 1

金沢は、様々な分野で活躍（かつやく）する多くの人々を育んできました。その中の一人、土木技師（どぼくぎし）の八田與一（はったよいち）が完成（かんせい）させた、烏山頭（うさんとう）ダムがあるのはどこでしょうか。

- 1 中国（ちゅうごく）
- 2 台湾（たいわん）
- 3 韓国（かんこく）
- 4 日本

八田與一は台湾にわたり、当時アジア最大（さいだい）といわれた烏山頭ダムや、16000 キロメートルにおよぶ水路を完成させ、不毛（ふもう）の大地をゆたかな平野にかえました。烏山頭ダムと、水路は現在でも活用されていて、台湾の農業を支えています。

問題 1 2

金沢市は本州のほぼ中央部にあって、日本海に面しています。金沢市からの直線距離（ちよくせんきょり）がもっとも遠い都市はどこでしょうか。

- 1 札幌（さっぽろ）
- 2 名古屋（なごや）
- 3 東京（とうきょう）
- 4 那覇（なは）

金沢市から東京までは南東に約 300 キロメートル、札幌までは約 800 キロメートル、名古屋までは約 150 キロメートル、那覇までは約 1400 キロメートルです。

問題 1 3

金沢の伝統的（でんとうてき）な焼き物（やきもの）に九谷焼（くたにやき）や大樋焼（おおひやき）があります。九谷焼の特色（とくしょく）は、上絵付け（うわえつけ）のすばらしさにあり、九谷五彩（くたにごさい）とよばれる五色（ごしょく）の絵の具をあつくもりあげてぬる方法（ほうほう）ですが、使われていない色は何でしょうか。

- 1 赤
- 2 茶
- 3 緑
- 4 紫（むらさき）



九谷庄三（くたにしょうざ）は、五彩（赤・黄・緑・紫・紺青（こんじょう））、花鳥山水（かちょうさんすい）をえがいた彩色（さいしき）、金襴手（きんらんて）の技法（ぎほう）を確立（かくりつ）しました。

問題 1 4

加賀藩（かがはん）5代藩主（はんしゅ）前田綱紀（まえだつなのり）が、細工人（さいくにん）の技術（ぎじゅつ）向上と工芸（こうげい）技術を保存（ほぞん）し記録（きろく）するために作らせたものがあります。それを何というでしょうか。

- 1 百工比照（ひゃくこうひしょう）
- 2 尊経閣文庫（そんけいかくぶんこ）
- 3 加賀象嵌（かがぞうがん）
- 4 加賀宝生（かがほうしょう）

全国から収集（しゅうしゅう）した二千点以上の工芸品を整理・分類（ぶんるい）したもので、江戸（えど）時代中ごろまでの最高（さいこう）レベルの工芸品と、一流の職人の技（わざ）を伝える貴重（きちょう）なものです。

問題 1 5

2008 年（平成 20）7 月 28 日、ふりつづいた大雨によって川の水があふれ、道路や土地が水につかり、広い範囲（はんい）で被害（ひがい）が出ました。この時、55 年ぶりに氾濫（はんらん）した川はどれでしょうか。

- 1 犀川（さいがわ）
- 2 手取川（てどりがわ）
- 3 浅野川（あさのがわ）
- 4 金腐川（かなくさがわ）



湯涌地区（ゆわくちく）では一時間に 100 ミリメートルをこえる観測史上（かんそくしじょう）例（れい）のない豪雨（ごうう）でした。市全体で全壊（ぜんかい）と半壊（はんかい）の家屋（かおく）は 11 棟（むね）、床上浸水（ゆかうえしんすい）507 棟、床下浸水（ゆかしたしんすい）1476 棟におよびました。

問題 1 6

金沢市立の図書館は、その特色（とくしょく）を生かした読書普及（ふきゅう）活動や、地域の人々との交流を行うことにより、ひらかれた学びの場として多くの市民（しみん）に利用（りよう）されています。写真の図書館は、2022 年（令和 4）に、リニューアルされた図書館です。何という図書館でしょうか。

- 1 玉川こども図書館
- 2 泉野（いずみの）図書館
- 3 金沢海みらい図書館
- 4 玉川図書館



金沢市の図書館には、上の 4 館にくわえ、城北分館（じょうほくぶんかん）があります。玉川図書館には、金沢の歴史（れきし）をたどる古文書（こもんじょ）を保存（ほぞん）する近世史料館（きんせいしりょうかん）が附属（ふぞく）し、市民をはじめ大学などの専門的（せんもんてき）な研究者に活用されています。

問題 1 7

江戸（えど）時代、長崎（ながさき）に出てオランダ人から西洋医学（せいよういがく）や理化学（りかがく）、天文学（てんもんがく）などを学んだ大野弁吉（おおのべんきち）はからくり師（し）として知られています。弁吉（べんきち）が作ったからくり人形の一つで何かを運ぶ人形がありますが、それは何を運ぶために作られたのでしょうか。

- 1 本
- 2 手ぬぐい
- 3 えんぴつ
- 4 茶碗（ちゃわん）

弁吉は「加賀（かが）の平賀源内（ひらがげんない）」としょうされました。からくり師大野弁吉が作ったからくり人形には、茶はこび人形・三番叟（さんばそう）人形・涼風車（りょうふうしゃ）・五段返（ごだんがえ）り人形などがあります。

問題 1 8

金沢では、日本で初めてクリの巨大（きょだい）木柱根が 350 本以上も発見されました。住まいの跡（あと）というよりも、特別（とくべつ）な建物跡（たてもものあと）と推定（すいてい）されているこの縄文（じょうもん）時代終わり頃（ごろ）の遺跡（いせき）はどれでしょうか。

- 1 チカモリ遺跡（いせき）
- 2 畝田遺跡（うねだいせき）
- 3 下安原海岸遺跡（しもやすはらかいがんいせき）
- 4 西念・南新保遺跡（さいねん・みなみしんぼいせき）



チカモリ遺跡は、全国的（てき）にも注目をあび、国指定史跡（しせき）となっています。チカモリ遺跡の一部は、チカモリ公園として整備（せいび）されています。チカモリ遺跡は、縄文時代終わりの時期の遺跡で、縄文人が高度な建築技術（けんちくぎじゅつ）と深い精神世界（せいしんせかい）を持っていたことを証明（しょうめい）した遺跡です。

問題 19

2019年（平成31）4月、城北（じょうほく）市民運動公園に「屋内交流広場（おくないこうりゅうひろば）」がオープンしました。雨の日でも、いろいろ運動ができ、子どもの運動機能（うんどうきのう）の発達（はったつ）をサポートする施設（しせつ）です。この施設の愛称（あいしょう）はどれでしょうか。

- 1 るんるんパーク
- 2 おくないパーク
- 3 あめるんパーク
- 4 はれるんパーク



あめるんパークには、全面人工芝（じんこうしば）の「のびのび広場」やネット遊具、ぴよんぴよんトランポリンなどの大型（おおがた）遊具を完備（かんび）した「親子アスレチックゾーン」があります。

問題 20

平安時代初め（はじめ）の823年（弘仁14）に加賀国（かがのくに）が誕生（たんじょう）しました。それはどこの国から独立（どくりつ）したのでしょうか。

- 1 能登国（のとのくに）
- 2 越前国（えちぜんのくに）
- 3 越中国（えっちゅうのくに）
- 4 越後国（えちごのくに）

加賀国（かがのくに）は823年（弘仁14）に、越前国の江沼郡（えぬまぐん）と加賀郡（かがぐん）をさいて、加賀国（かがのくに）が誕生（たんじょう）しました。

問題 2 1

江戸時代、1635 年（寛永（かんえい）12）の大火では、1 万軒（けん）もの家がやけてしまいました。そこで、火事が広がらないように、火除地（ひよけち）をつくりました。この火除地を何というのでしょうか。

- 1 広見（ひろみ）
- 2 広場（ひろば）
- 3 避難所（ひなんじょ）
- 4 回転場（かいてんじょう）



今ものこっている広見は、地域（ちいき）の祭りや盆踊（ぼんおど）りなど、地域の人々のふれあいの場として活躍（かつやく）しています。

問題 2 2

金沢で初めて電灯（でんとう）がともったのは 1894 年（明治 27）ですが、この計画は当時の長谷川準也（はせがわじゅんや）金沢市長が中心に行いました。その後、1897 年（明治 30）に金沢市から電気事業をゆずり受け、金沢電気（でんき）株式（かぶしき）会社を作った人物は誰（だれ）のでしょうか。

- 1 津田米次郎（つだよねじろう）
- 2 稲垣義方（いながきよしかた）
- 3 高田久兵衛（たかだきゅうべえ）
- 4 森下八左衛門（もりしたはちざえもん）

森下八左衛門は、金沢市にある和菓子（わがし）の老舗（しにせ）「森八」の 12 代目当主です。森下八左衛門は、静岡県（しずおかけん）で電気会社の開業式を見て感激（かんげき）し、文明開化の根本をなすものは電気と鉄道だと考え、金沢での実用を思い立ったのです。

問題 2 3

金沢城（じょう）の外庭（そとにわ）としてつくられた、江戸（えど）時代の代表的な大名庭園は何というのでしょうか。

- 1 偕楽園（かいらくえん）
- 2 兼六園（けんろくえん）
- 3 後楽園（こうらくえん）
- 4 六義園（りくぎえん）



「兼六園（けんろくえん）」という名がつけられたのは、庭園（ていえん）に同時になりたつのが困難（こんなん）な「宏大（こうだい）・幽邃（ゆうすい）・人力（じんりょく）・蒼古（そうこ）・水泉（すいせん）・眺望（ちょうぼう）」の6つのすぐれた点をかねそなえている庭という意味で名づけられたといわれています。

問題 2 4

金沢は、藩政（はんせい）時代から今日まで、様々な分野で活躍（かつやく）する多くの人々をはぐくんできました。明治（めいじ）時代に活躍した高峰讓吉（たかみねじょうきち）が業績としてあげたことはどんなことでしょうか。

- 1 緯度（いど）の観測（かんそく）をより正確（せいかく）に行えるようにしたこと
- 2 仏教（ぶつきょう）を説明する本を出版（しゅつぱん）したこと
- 3 レジャー施設（しせつ）を開業させたこと
- 4 胃腸薬（いちょうやく）であるタカジアスターゼを発明したこと

高峰讓吉は、1894年（明治27）に強い消化効力（しょうかこうりょく）のある胃腸薬（いちょうやく）であるタカジアスターゼを発明しました。この薬は、微生物（びせいぶつ）を利用（りよう）した薬づくりの手本となりました。

問題 2 5

加賀藩（かがはん）藩主（はんしゅ）の前田利長（まえだとしなが）や前田利常（まえだとしつね）は、金沢城（じょう）や城下（じょうか）を守るために、城の東西に堀（ほり）をきずきました。金沢城のまわりを二重にかこんできずかれたこの堀は何でしょうか。

- 1 百間堀（ひゃっけんぼり）
- 2 白鳥路（はくちょうろ）
- 3 惣構（そうがまえ）
- 4 いもり堀（いもりほり）



惣構は、城を守るためにきずかれたため、堀の内側（うちがわ）には、土を6～9mの高さに盛り上げて土居（どい）とし、雑木（ぞうき）や竹などが植えられました。

問題 2 6

2015年（平成27）3月に北陸新幹線（ほくりくしんかんせん）が金沢まで開業し、たくさんの人たちが観光（かんこう）や仕事で金沢をおとずれるようになりました。観光都市金沢をささえるボランティアで、町の観光案内（あんない）をする人たちを何というのでしょうか。

- 1 あんやとさん
- 2 りくつなさん
- 3 おつかれさん
- 4 まいどさん



金沢市には、兼六園を中心に、長町武家屋敷跡（ぶけやしきあと）や、ひがし茶屋街（ちゃやがい）などがあり、全国的に有名な観光地になっています。そのほかにも、三寺院群（さんじいんぐん）などの歴史遺産（れきしいさん）や、数多くの美術館（びじゅつかん）、博物館（はくぶつかん）があり、多くの観光客がおとずれています。

問題 27

1221 年（承久 3）「承久の乱（じょうきゅうのらん）」の後に、加賀国（かがのくに）で勢力（せいりょく）を拡大（かくだい）したのは、富樫氏（とがしし）でした。富樫氏が仕事をしていた屋敷（やしき）には京都にならった地名が見られます。その地名はどれでしょうか。

- 1 今町（いままち）
- 2 山科（やましな）
- 3 尾張町（おわりちょう）
- 4 金石（かないわ）

富樫氏は、京都と富樫郷（とがしごう）に屋敷をかまえて仕事をしていました。山科だけでなく、高尾（たかお）、伏見（ふしみ）も京都にならった地名だと伝わっています。

問題 28

金沢には、加賀象嵌（かがぞうがん）、蒔絵（まきえ）など様々な伝統産業（でんとうさんぎょう）があります。その中でも、宮崎友禅斎（みやざきゆうぜんさい）が京都から金沢にうつり住んで加賀染め（かがぞめ）を改良（かいりょう）して作り出したものは、何というのでしょうか。

- 1 二俣和紙（ふたまたわし）
- 2 九谷焼（くたにやき）
- 3 輪島塗（わじまぬり）
- 4 加賀友禅（かがゆうぜん）



宮崎友禅斎は新しいデザインの模様染め（もようぞめ）を次々と発表しました。加賀友禅（かがゆうぜん）は、草花模様を主体に、絵画的（かいがてき）な落ち着いた感じがあり、外側（そとがわ）から内側（うちがわ）へのぼかしや「虫食くい」などの技法（ぎほう）を用いた表現（ひょうげん）には味わいがあります。

問題 29

加賀藩（かがはん）5代藩主（はんしゅ）前田綱紀（まえだつなのり）は、学問ずきで、とくに二つのことに力を入れ、その一つは有名な学者を日本中から金沢にまねくことでした。もう一つはどんなことでしょうか。

- 1 外国に学者を留学（りゅうがく）させること
- 2 貴重（きちょう）な書物を国中から書き写してまで集めること
- 3 金沢に大学をつくり、多くの庶民（しょみん）に学びの場をあたえたこと
- 4 加賀藩に多くの学校をつくったこと

多くの書物を集めたので、新井白石（あらいはくせき）から「加賀（かが）は天下の書府（しょふ）」とほめたたえられました。綱紀はためになる本の話を知ると、京都でも江戸でも使いを出してその本を買いもとめ、一冊（いっさつ）しかない書物は書き写してまで集めました。このように綱紀の時代を中心に集められた書物は、質（しつ）・量（りょう）ともにずばぬけたものとなり、「尊経閣文庫（そんけいかくぶんこ）」とよばれ、今にのこされています。

問題 30

武士（ぶし）のたしなみとしてたしまれていた「茶の湯（ゆ）」は、藩主（はんしゅ）が客をもてなすために熱心（ねっしん）に取り入れられました。加賀藩（かがはん）の初代（しょだい）藩主である前田利家（まえだとしいえ）が茶会にまねいた人物は誰（だれ）でしょうか。

- 1 織田信長（おだのぶなが）
- 2 豊臣秀吉（とよとみひでよし）
- 3 徳川家康（とくがわいえやす）
- 4 徳川家光（とくがわいえみつ）



茶の湯がさかんになった加賀藩（かがはん）では、いろいろな和菓子（わがし）が考え出され、今に伝わる五色生菓子（ごしきなまがし）は利長（としなが）のころに、氷室饅頭（ひむろまんじゅう）は綱紀（つなのり）のころに作られました。

問題 3 1

1671 年（寛文 11）、後藤太兵衛（ごとうたへえ）が寺町台地に田んぼを作るために用水を完成（かんせい）させました。犀川（さいがわ）の支流（しりゅう）の内川から水を引き、野田山のまわりをぐるっと回るようにつくられた、この用水を何というのでしょうか。

- 1 鞍月（くらつき）用水
- 2 辰巳（たつみ）用水
- 3 長坂（ながさか）用水
- 4 七ヶ（しちか）用水

長坂用水は、今でも寺町一帯（いったい）をうるおす、大切な用水です。

問題 3 2

2019 年（令和元）、青少年の主体的（しゅたいてき）な学びや交流をうながし、健全（けんぜん）で活力にみちた創造性（そうぞうせい）豊かな青少年の育成（いくせい）をはかるための活動拠点（かつどうきょてん）としてできた建物は何でしょうか。

- 1 金沢市長土堀（ながどへ）青少年交流センター
- 2 金沢文芸館（ぶんげいかん）
- 3 金沢市中央公民館彦三館（ひこそかん）
- 4 石川県立図書館



金沢市では、学校と地域と家庭が協力（きょうりよく）しあって、市民（しみん）が生涯（しょうがい）にわたって心ゆたかに成長しつづけることをサポートしています。長土堀青少年交流センターでは、青少年団体の自主的な活動の場として活用されているほか、いろいろな講演会（こうえんかい）や研修会（けんしゅうかい）が開かれています。学生の皆さんの学習スペース、利用者同士の談話（だんわ）などができる交流スペースもそなえています。

問題 3 3

金沢には、江戸（えど）時代から伝わる伝統芸能（でんとうげいのう）があります。その中の一つとして、年の初めのおいおいにおどっていたおどりを「加賀万歳（かがまんざい）」として定着させた人物は誰（だれ）でしょうか。

- 1 大石藤五郎（おおいしとうごろう）
- 2 銭屋五兵衛（ぜにやごへい）
- 3 赤羽萬次郎（あかばねまんじろう）
- 4 安宅弥吉（あたかやきち）

「加賀万歳」は初代（しょだい）藩主（はんしゅ）前田利家（まえだとしいえ）が越前（えちぜん）の府中（ふちゅう）（現在（げんざい）の越前市）をおさめていた頃（ころ）におどられました。能楽師（のうがくし）の大石藤五郎が定着させた「加賀万歳」は、能楽の影響（えいきょう）を受けており、舞（まい）や語りはユーモアがある中にも品格（ひんかく）があります。

問題 3 4

金沢市では、スポーツをさかんにするこゝで、まちの活力を高めようとしています。2015年（平成27）には、金沢の秋の風物詩として定着したイベントが始まりましたが、そのイベントとは何でしょうか。

- 1 水泳記録会
- 2 連合体育大会
- 3 金沢マラソン
- 4 全日本大学選抜（せんぱつ）相撲（すもう）
金沢大会



「金沢マラソン」は、金沢の魅力発信（みりょくはっしん）や経済（けいざい）の活性化（かつせいか）、市民の健康増進（けんこうぞうしん）を目的としており、北陸（ほくりく）で初めて国際公認（こくさいこうにん）コースに認定（にんてい）されました。

問題 3 5

加賀藩（かがはん）初代（しょだい）藩主（はんしゅ）前田利家（まえだとしいえ）がなくなると、徳川家康（とくがわいえやす）は、何かと無理難題（むりなんだい）をおしつけて、前田家をとりにつぶそうとしました。加賀藩 2 代藩主前田利長（まえだとしなが）は、母を人質（ひとぢち）として江戸（えど）へ差し出すことでゆるされました。母の名前は何でしょうか。

- 1 豪姫（ごうひめ）
- 2 寿福院（じゅふくいん）
- 3 芳春院（ほうしゅんいん）
- 4 安（やす）



前田利家（まえだとしいえ）の正妻（せいさい）として、元々の名前は「まつ」でしたが、夫の利家がなくなった後出家し、芳春院を名のりました。

問題 3 6

金沢は、地下水にめぐまれた土地でしたが、大正時代のだいかんぼつをきっかけとして上水道の整備（せいび）が進められました。1930 年（昭和 5）に、金沢で最初（さいしょ）につくられた浄水場（じょうすいじょう）はどれでしょうか。

- 1 長坂浄水場
- 2 浅野川（あさのがわ）浄水場
- 3 犀川（さいがわ）浄水場
- 4 末（すえ）浄水場



1931 年（昭和 6）、市民待望（たいぼう）の通水式（つうすいしき）が行われました。しかし、当時「水は無料（むりょう）のもの、買うものではない」と考える市民が多かったため、給水（きゅうすい）を受ける家庭は 6800 戸にすぎませんでした。2010 年（平成 2）には、開設当初（かいせつとうしょ）の造園技術（ぞうえんぎじゅつ）が芸術（げいじゅつ）上の価値（かち）が高いとして、水道施設（しせつ）として初めて「名勝」の指定を受けました。

問題 3 7

金沢の気候（きこう）は、梅雨（つゆ）の季節（きせつ）や台風（たいふう）の頃（ころ）、そして冬にはたくさんの雪（ゆき）がふるため降水量（こうすいりょう）が多くなります。このような気候を何というのでしょうか。

- 1 中央高地式（ちゅうおうこうちしき）気候
- 2 日本海側（にほんかいがわ）気候
- 3 瀬戸内式（せとうちしき）気候
- 4 太平洋側（たいへいようがわ）気候

北陸地方は世界的な豪雪地帯（ごうせつちたい）です。1963年（昭和38）には三八豪雪（さんぱちごうせつ）とよばれる大雪（おおいゆき）がふりました。

問題 3 8

1947年（昭和22）に石川県で、第2回国民（こくみん）体育大会（たいいくたいかい）が開催（かいさい）されました。後に、大会の歌（うた）は、歌（うた）に合わせて振り付け（ふりづけ）されて、金沢市連合（れんごう）体育大会（たいいくたいかい）でえんじられています。この歌（うた）の名前（なまえ）は何（なに）でしょうか。

- 1 ふるさと
- 2 うみ
- 3 若い力（わかいちから）
- 4 金沢市歌（かなざわしか）



「若い力」は、金沢市立小学校連合体育大会だけでなく、市内の小学校の運動会などでえんじられています。

問題 3 9

1689 年（元禄（げんろく）2）、松尾芭蕉（まつおばしょう）は「奥（おく）の細道」の旅の途中（とちゅう）、金沢に立ちより、10 日間すごしました。そのときに、ある人物の死をいたんで、「塚（つか）も動け わがなく声は 秋の風」という句（く）をよみましたが、その人物とは誰（だれ）でしょうか。

- 1 立花北枝（たちばなほくし）
- 2 秋の坊（ぼう）
- 3 宮竹屋小春（みやたけやししょうしゅん）
- 4 小杉一笑（こすぎいっしょう）



松尾芭蕉は、その後あちこちにまねかれて多くの人たちと俳句（はいく）を作ったり、俳句について話し合ったりしました。そして、おとずれた先で数々の句をよみました。小杉一笑は 1653 年（承応 2）に金沢に生まれ、加賀（かが）を代表する俳人で茶屋の経営（けいえい）も行っていました。

問題 4 0

石川県の県庁所在地（けんちょうしょざいち）は金沢市です。下の地図で金沢市の位置（いち）は、1～4 のどれでしょうか。

- 1
- 2
- 3
- 4



金沢市の位置は、ほぼ東経（とうけい）136 度、北緯（ほくい）36 度であり、本州（ほんしゅう）のほぼ中央部（ちゅうおうぶ）にあって日本海に面（めん）しています。1872 年（明治 5）に美川町（現在の白山市）にいったん県庁（けんちょう）がおかれましたが、翌年（よくねん）ふたたび金沢市に移転（いてん）しました。

問題 4 1

江戸（えど）時代、加賀藩（かがはん）では、1792年（寛政4）、11代藩主（はんしゅ）治脩（はるなが）のとき、教育のために明倫堂（めいりんどう）と経武館（けいぶかん）を現在の兼六園（けんろくえん）内にたてました。明倫堂に入校できたのは、どのような人たちでしょうか。

- 1 武士（ぶし）の8歳（さい）以上（いじょう）の子ども
- 2 武士以外（いがい）の8歳以上の子ども
- 3 8歳以上の男子
- 4 8歳以上の女子

明倫堂の科目は、儒学（じゅがく）を中心に、漢学（かながく）・算術（さんじゅつ）・医学・天文学など、広い分野にわたっていました。また、経武館（けいぶかん）は武芸（ぶげい）の鍛錬（たんれん）を目的としていました。

問題 4 2

金沢城（かなざわじょう）のシンボル「石川門」や「三十間長屋（さんじっけんながや）」には、普通（ふつう）の瓦（かわら）にくらべ、落ち着いた銀色で気品にみちた美しさをほこっています。どんな材料（ざいりょう）が使われているのでしょうか。

- 1 金
- 2 銀
- 3 銅（どう）
- 4 鉛（なまり）



鉛瓦は木型のうえに鉛をかぶせたものです。加賀藩（かがはん）3代藩主（はんしゅ）前田利常（まえだとしつね）が名古屋城を参考（さんこう）にして作らせたものです。

問題 4 3

金沢の玄関口（げんかんぐち）である金沢駅には、「駅をおりた人に傘（かさ）をさしだす」ような、ガラスでできたドームがあります。このドームは何とよばれているでしょうか。

- 1 もてなしドーム
- 2 かがやきドーム
- 3 おもいやりドーム
- 4 まごころドーム



金沢駅は、アメリカの旅行雑誌（りょこうざっし）で、世界で最も美しい駅 14 に選ばれたこともあります。ガラスとアルミ合金からなるドームと「鼓門（つづみもん）」は、伝統（でんとう）がいきづく金沢と、進化してゆく金沢を象徴（しょうちょう）しています。

問題 4 4

金沢城内（じょうない）には、30 人から多いときには 76 人の細工人（さいくにん）がはたらき、大名調度品（だいみょうちょうどひん）や幕府（ばくふ）、朝廷（ちやうてい）へのおくり物などの工芸品（こうげいひん）を製作（せいさく）していました。その場所を何というでしょうか。

- 1 御細工所（おさいくしょ）
- 2 金沢御堂（かなざわみどう）
- 3 お救い小屋（おすくいごや）
- 4 養生所（ようじょうしょ）

初めのころは、武具（ぶぐ）や武器（ぶき）を修理（しゅうり）する施設（しせつ）でしたが、3代藩主（はんしゅ）利常（としつね）のころから、高い技術（ぎじゅつ）を持った職人（しょくにん）を、京都や江戸（えど）からまねいて、細工人の指導（しどう）にあたらせました。

問題 4 5

加賀藩（かがはん）3代藩主（はんしゅ）前田利常（まえだとしつね）の妻（つま）は、徳川（とくがわ）2代将軍（しょうぐん）秀忠（ひでただ）の娘（むすめ）である珠姫（たまひめ）です。珠姫がつくったとされる「紙ひな人形」が所蔵（しょぞう）されている、珠姫ゆかりのお寺はどこでしょうか。

- 1 雨宝院（うほういん）
- 2 天徳院（てんとくいん）
- 3 妙立寺（みょうりゅうじ）
- 4 大乘寺（だいじょうじ）



前田利常は、珠姫をとむらうため、金沢城の東の小立野に4万坪（つぼ）の広大な敷地（しきち）に天徳院を創建（そうけん）しました。

問題 4 6

金沢には、たくさんの方言（ほうげん）があります。その中で「ありがとう」をあらわす方言はどれでしょうか。

- 1 あんやと
- 2 いんぎらあっと
- 3 じゃまない
- 4 たいそい

「いんぎらあっと」は「ゆったりと」、「じゃまない」は「大丈夫（だいじょうぶ）」、「たいそい」は「つかれた」をあらわす方言です。

問題 4 7

金沢の武家屋敷（ぶけやしき）や町家などのまちなみは、その家の持ち主や地元の職人（しょくにん）によって守られてきました。現在伝統的（でんとうてき）な職人の技を守りつなげていくために、建築（けんちく）の技術（ぎじゅつ）を学ぶことができる学校の名前は何でしょうか。

- 1 かなざわ町屋学校
- 2 金沢武家学校
- 3 金沢建築学校
- 4 金沢職人大学校



金沢の伝統工芸（でんとうこうげい）は、藩政（はんせい）時代から戦争（せんそう）の被害（ひがい）や大災害（だいさいがい）にも見まわれずに守られてきました。金沢市では独自（どくじ）の技術の継承（けいしょう）と発展（はってん）をはかるため、様々な取り組みを行っています。

問題 4 8

金沢市は、犀川（さいがわ）、浅野川（あさのがわ）という2つの川にはさまれ、緑に恵（めぐ）まれた「森の都」とよぶにふさわしいまちです。金沢市の面積（めんせき）のうち森林がしめる部分はどのくらいでしょうか。

- 1 2割（5分の1）
- 2 4割（5分の2）
- 3 6割（5分の3）
- 4 8割（5分の4）

近年（きんねん）、森や自然（しぜん）とのふれあいが少なくなり、手入れが不足（ふそく）し、森林があれきています。そこで、市では「金沢市森づくり条例（じょうれい）」をつくり、森林の整備（せいび）を進めたり、森林と親しむ機会（きかい）をつくったりして、市民みんなで森を守り育てる活動を進めています。

問題 4 9

金沢市では、歴史があり、町の特徴（とくしよく）を表す藩政時代（はんせいじだい）の旧（きゅう）町名を復活（ふっかつ）させてきました。浅野川（あさのがわ）大橋のすぐそばにあって浅野川の水運や北国街道（ほっこくかいどう）の人や物が行きかったにぎやかな場所で、茶屋とよばれる建物（たてもの）がたちならんでいる 1999 年（平成 11）に旧町名が復活した町はどこでしょうか。

- 1 主計町（かずえまち）
- 2 塀町（たてまち）
- 3 寺町
- 4 本町



金沢市では、歴史ある旧町名や昔の地名がわすれ去られることのないように、旧町名や坂道などの由来をきざんだ標柱（ひょうちゅう）「歴史のまちしるべ」を昭和 54 年から令和元年までに市内 224 か所にたてました。

問題 5 0

金沢は、加賀藩（かがはん）のころから学問や芸術（げいじゅつ）がたいへんさかんで、明治（めいじ）から後もすぐれた人物がたくさん出ました。なかでも、横山町に生まれ、『徼（かび）』『あらくれ』『縮図（しゅくず）』などの小説を発表した人物は誰（だれ）でしょうか。

- 1 徳田秋声（とくだしゅうせい）
- 2 泉鏡花（いずみきょうか）
- 3 室生犀星（むろおさいせい）
- 4 尾崎紅葉（おざきこうよう）



徳田秋声・泉鏡花・室生犀星は金沢が生んだ三文豪（さんぶんごう）とよばれています。秋声は、おさないときからよく勉強し、本をよむことが大好きでした。

第17回ジュニアかなざわオンライン検定解答（小学生版）

No.	解答	No.	解答
1	3	26	4
2	2	27	2
3	4	28	4
4	4	29	2
5	3	30	2
6	2	31	3
7	2	32	1
8	4	33	1
9	1	34	3
10	1	35	3
11	2	36	4
12	4	37	2
13	2	38	3
14	1	39	4
15	3	40	3
16	1	41	3
17	4	42	4
18	1	43	1
19	3	44	1
20	2	45	2
21	1	46	1
22	4	47	4
23	2	48	3
24	4	49	1
25	3	50	1

※当検定の写真、イラストなどを著作権者の許可なしに複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、かたくお断りします。

写真提供者一覧（敬称略・順不同）

金沢市、一般社団法人金沢市観光協会、公益財団法人金沢市スポーツ事業団、
公益社団法人金沢職人大学校